

「ここでしか買えないお土産」が大集合！ 「走る日本市」プロジェクト 2015～2016年 総集編 2017年6月26日(月)よりスタート

西日本旅客鉄道株式会社
株式会社ジェイアール西日本フードサービスネット
株式会社中川政七商店

西日本旅客鉄道株式会社（所在地：大阪府大阪市 代表取締役社長 来島達夫）と株式会社ジェイアール西日本フードサービスネット（所在地：大阪府大阪市 代表取締役社長 梅谷泰郎）、株式会社中川政七商店（所在地：奈良県奈良市 代表取締役社長 十三代 中川政七）の3社は、「土産もの」を切り口に新幹線車内からその土地のものづくりの魅力を発信する「走る日本市」プロジェクトを2015年5月より実施しております。

1年間を4シーズンに分け、山口県、福岡県、石川県、岡山県と地域工芸品を中心に各地域にちなんだオリジナルアイテムを地元メーカーとともに開発した2015年。瀬戸内、古都（京都・奈良）、山陰（島根・鳥取）と県域の枠を超えて対象エリアを拡大した2016年。

この度は2015年、2016年の総集編として、これまでのラインナップから選りすぐりのオリジナルアイテムが期間限定で大集合。また、全シリーズの中でも特にご好評いただいたアイテムを新デザインで、お届けいたします。2017年6月26日(月)より、山陽新幹線（新大阪駅～博多駅）車内にて販売いたします。



■総集編 新デザイン商品



愛媛

海を織るストール 各¥6,500

愛媛県今治市で「織物の原点に立ち返る」旅を続ける工房織座。大正～昭和初期製のシャトル式織機を全国から集め、研究、復元し改良を重ねて作り上げた世界で唯一の「着尺一列機」により、たてよろけもじり織は生まれました。経糸のゆらぎを美しい海にゆらめく波に見立てた「青波」に「朝風」「夕風」の新色を加え、時間の経過とともに美しく変化する瀬戸内の海を表現しました。ストールは軽やかで風通しがよく、やわらかくさらっとした肌触りです。

株式会社工房織座

青波：綿50% 麻50% / 約40×175cm、朝風・夕風：綿35% 麻65% / 約40×170cm



岡山

岡山ヒノキの定規 0系新幹線 ¥1,400

ようびと作った、岡山県産ヒノキの0系新幹線型定規。使いやすい15cmのサイズで、塗装をしていないヒノキそのものの肌触りと香りを楽しめます。この定規をたくさん作ることで間伐材の利用が進み、車窓から見える森の風景がきれいになります。ようびは岡山県西粟倉村で土地の素材を使い丁寧に家具や暮らしの道具を作っています。

株式会社ようび 16.7×3×0.4cm



岡山

山陽新幹線マスキングテープCセット ¥1,100

ドクターイエローを含む歴代の新幹線、山陽新幹線開業時の時刻表、山陽新幹線沿線の地域特産品と、走る日本市とmtのこだわりが詰まった3柄のマスキングテープを缶のパッケージに詰めました。mtは1923年創業のカモ井加工紙によって岡山県倉敷市で作られる、マスキングテープのブランド。和紙で作られる日本独自のマスキングテープは世界で認められています。

カモ井加工紙株式会社 3巻入り（1巻の長さ7m）

約φ5.2×6cm（缶）



石川

新幹線豆菓子 ¥1,000

白い豆型の紙器「豆箱」にドクターイエローの絵柄を、石川県の伝統工芸・九谷焼の技法を用いてひとつひとつ手書きで描きました。中には国産の有機大豆の炒り豆が入っています。炒り豆は、金沢・大野のお醤油を使った甘辛醤油だれで仕上げたみたらし豆と、磯の味わいがやさしく広がる磯海苔豆の2種類のセットです。

まめや金澤萬久 株式会社ぶどうの木 約9×13×4.5cm（箱）

みたらし豆30g、磯海苔豆30g

※価格は税込表記です。
※写真はイメージです。

■総集編 販売アイテムラインナップ

▼2015年



ふくハンカチ
¥1,300



フロートナツミカネード
¥350



走る日本市セット
¥850



TO&FRO トラベルスリッパ
¥3,800



椿うるおい 洗顔石鹸
¥3,000



久留米緋ハンカチ みずほ
¥1,300

▼2016年



ビーズ
ブローチキット
各¥550



京あめ新幹線
¥1,000



鹿のお父さん
新幹線の旅くつした
¥1,500



八雲塗の手鏡
¥6,500



來間屋ひとくち糖
いち・に・さん色系
¥600



いつものおつまみ
三段土産
¥1,400



とっとり智頭杉の百年わっぱ
¥8,500



ご当地和紙の絵はがき
鳥取・島根
¥1,000



(左) 新幹線つくしふきん
(右) 新幹線ふきん2
各¥550

※価格は税込表記です。※写真はイメージです。

■走る日本市プロジェクトとは？

「ここでしか買えないお土産」をコンセプトに、地域の工芸メーカーと3社が協力して商品企画を行うことにより、旅の思い出を彩る特別なお土産をお客様にお届けいたします。新幹線の車内販売は、従来の「車内で必要な物を売る」ことに加え、「車内で魅力的な商品をご提案する」へ。交通網としてだけではなく、車内を旅行者と地域工芸との出会いの場とするために、両者の喜びとなるような商品を創造していきます。



■土産もの屋ワゴンが出現！1台のみ毎日運行！

開催期間中、土産ものをイメージした特別装飾ワゴンが新幹線の車内に出現いたします。のれんは手績み手織りの麻生地に、京都で手捺染を施しました。なお、「走る日本市」のお土産が買える全てのワゴン約200台のうち、土産もの屋ワゴンは1台のみ。特別におめかしをしたパーサーが、みなさまの元へ「ここでしか買えないお土産」をお届けいたします。

■販売場所

- ・車内販売 山陽新幹線（新大阪駅～博多駅）
- ・インターネット販売 山陽新幹線車内販売ネットショップ（国内向け）<http://syahan.sl.shopservice.jp>
- ・インターネット販売 EVERYTHING FROM. JP（海外向け等）<http://www.everythingfrom.jp/>

■開催期間

2017年6月26日～2017年8月下旬

<お問い合わせ先>

株式会社ジェイアール西日本フードサービスネット 総務部 広報担当（松田・山西）
〒532-0011 大阪府大阪市淀川区西中島五丁目4番20号 電話番号06-6885-3573